

## 教育研究上の目的

食物栄養学科は、人間栄養学に基づいた食・栄養・健康に関する専門的知識・技能と企画力・実践力を備え、人々の生涯にわたる健康と幸福の実現のために社会に貢献できる人間性豊かな食・栄養・健康の専門家を養成することを教育研究上の目的とする。

## 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

食物栄養学科では、教育研究上の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 科学的根拠に基づく食・栄養・健康に対する識見を備え、人々の【健幸】の実現に寄与できる
2. 食・栄養・健康の問題を解決するために、適切な栄養管理・栄養教育を実践できる
3. 社会的視野を備え、保健、医療、福祉、教育、産業において栄養の専門職であることを自覚し、自ら考え行動できる
4. 食・栄養・健康の問題に対して、食環境整備の視点に立ち、社会・地域・コミュニティ・組織や家族へ働きかけができ、改善を導くための能力を有する

そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士（栄養学）」の学位を授与する。

### ①知識・技能

1. 科学的な根拠に基づいた食・栄養・健康の基礎知識を身につけている
2. 基礎知識をもとに食・栄養・健康に関する、より専門性の高い知識を修得している
3. 実験・実習により修得した基礎及び専門知識の活用方法を説明できる
4. 食・栄養・健康の専門家としての、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有している
5. 社会の構造を理解し、関係組織のネットワークづくりと、マネジメントの手法を説明できる

### ②思考力・判断力・表現力

1. 食・栄養・健康に関わる問題に対して、科学的根拠を示す情報を収集し、情報リテラシーをもって正しく活用できる
2. 社会の構造や変化、ニーズを客観的に捉えることができる
3. 食・栄養・健康に関わる問題を論理的に思考できる
4. 食・栄養・健康に関わる問題に対して、適切な解決策を提案し、問題解決に向け行動できる
5. アドボカシー能力（社会や組織を変えていく力）の必要性を理解している

### ③主体性・多様性・協働性

1. 常に食・栄養・健康に関心を持ち、探究する意欲と態度を有している
2. 食・栄養・健康の専門家として実践力を備え、倫理観を持った専門職業人として社会に貢献し、活躍したいという意欲と態度を持っている
3. 食・栄養・健康の領域において、広い視野と豊かな人間性を備え、生涯にわたり研鑽する意欲と態度を身につけている
4. 協調性とリーダーシップの双方を身につけ、関係者と連携・協働して栄養管理に取り組む意欲と態度を有している
5. 栄養管理を必要とする人々による、食・栄養・健康問題への主体的な意思決定を尊重する態度を身につけている

---

## 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

---

食物栄養学科では、人間栄養学を基盤とする食・栄養・健康の専門知識・技能を有し、健康や食生活の問題に取り組み、的確な栄養管理をできる人材の育成を教育研究上の目的としている。そのため、基礎的な内容から総合的・統合的な内容へ、順次学修を発展させるカリキュラムとして、専門基礎領域・応用領域・展開領域・実践領域の4領域を設定している。

専門基礎領域；社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康

応用領域；基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論

展開領域；臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論

実践領域；総合演習、臨地実習、卒業研究

さらに各領域には、食物栄養関連科目として、より専門性の高い講義や演習科目を配置している。

各領域の学修過程は、次の通りとする。

### ◆社会・環境と健康

1. 公衆衛生学、健康管理概論、健康情報処理実習、社会福祉概論領域における基礎知識を理解する
2. 公衆衛生学、健康管理概論、健康情報処理実習、社会福祉概論領域における基礎知識に基づき、実験・実習を通して体系的に理解する
3. 公衆衛生学、健康管理概論、健康情報処理実習、社会福祉概論領域における管理栄養士ガイドラインに基づいて専門職としての能力を修得する

### ◆人体の構造と機能及び疾病の成り立ち

1. 解剖生理学、運動生理学、人間生物化学、医学概論、病態生理学、系統別疾病学、病原物質・微生物学領域における基礎知識を理解する
2. 解剖生理学、運動生理学、人間生物化学、医学概論、病態生理学、系統別疾病学、病原物質・微生物学領域における基礎知識に基づき、実験・実習を通して体系的に理解する
3. 解剖生理学、運動生理学、人間生物化学、医学概論、病態生理学、系統別疾病学、病原物質・微生物学領域における管理栄養士ガイドラインに基づいて専門職としての能力を修得する

### ◆食べ物と健康

1. 食品学・調理学・食品衛生学における基本的な理論・概念、科学的な考え方について理解する
2. 食品学・調理学・食品衛生学における実践的な方法と専門的知識について習得する
3. 食べ物と健康における管理栄養士のガイドラインに基づいた体系的な理解を深める

### ◆基礎栄養学

1. 基礎栄養学領域における基礎知識を理解する
2. 基礎栄養学領域における基礎知識に基づき、実験・実習を通して体系的に理解する
3. 基礎栄養学領域における管理栄養士ガイドラインに基づいて専門職としての能力を修得する

### ◆応用栄養学

1. 栄養状態や心身機能に応じた栄養管理（栄養ケア・マネジメント）の基本的な考え方について、講義により理解する
2. 食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠について、講義や実習を通して習得する

3. 各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理について、講義や実習を通して習得する

#### ◆栄養教育論

1. 行動科学の理論やモデル、アセスメントからはじまる栄養教育プログラムのPDCAなどについて、講義を通じて理解する
2. プレゼンテーションやカウンセリングなどのスキルを持ち、個人や集団、環境への働きかけ方を、実習や演習を通して習得する
3. ライフステージや疾病の異なる対象者に寄り添い、専門的知識を基礎に、問題解決への支援となる栄養教育ができる能力を習得する

#### ◆臨床栄養学

1. 傷病者および要介護者に対する、科学的根拠に基づいた栄養管理について、講義により理解する
2. 傷病者および要介護者の栄養管理に必要なコミュニケーション能力をグループ学習・発表、ロールプレイ等により身につけ、栄養状態を改善するための栄養の指導の能力を講義や実習を通して習得する
3. 傷病者および要介護者の栄養に関連した問題に対して、論理的に思考し、適切な解決策を提案する能力を講義や実習を通して習得する

#### ◆公衆栄養学

1. 地域・国・地球レベルでの健康増進と疾病予防を目指す栄養政策や活動について講義により理解する
2. 地域社会の健康・栄養問題および関連要因の把握、課題分析を行う能力を習得する
3. 健康・栄養施策の計画立案、実践、モニタリング・評価、フィードバックを行う公衆栄養管理能力の基礎を習得する

#### ◆給食経営管理論

1. 給食の運営および給食経営管理に関わる基礎および専門知識について理解、修得する
2. 実習により基礎的、専門的な知識を体系的に理解し、給食運営におけるシステム化やマネジメント能力、経営管理のダイナミックな展開につなげる実践的な技術と能力を修得する
3. 給食の運営および給食経営管理に関わる問題に対して、論理的に思考し、解決に向けて意欲的に取り組む態度、適切な解決策を提案する能力を修得する

#### ◆総合演習

1. 臨地実習に臨むために必要な実践的な事項に関して理解、修得する
2. 臨地実習において課題を行うために必要な技術や知識などを修得する
3. 臨地実習終了後に臨地実習で取り組んだことや学んだことをまとめ、発表する技術を修得する
4. 各領域で学んだ知識を統合して、管理栄養士に求められる識見を備える

#### ◆臨地実習

1. 管理栄養士資格取得に必須の講義、演習・実験・実習科目ならびに関連科目の演習、実験・実習について、体系的に理解する
2. 管理栄養士資格取得に必須の演習・実験・実習科目ならびに関連科目の演習、実験・実習について、専門知識と

技術を統合できる

3. 管理栄養士として、課題発見・問題解決のための方法を理解し、実践する能力を修得する

#### ◆食物栄養関連科目

1. 各領域に関連した講義・演習を通して、食・栄養・健康の基礎知識を習得する
2. 各領域に関連した演習を通して、食・栄養・健康に関する、より専門性の高い知識や信憑性の高い情報を収集する能力、問題を論理的に思考し説明する能力を習得する
3. 各領域に関連した演習を通して、探求する意欲と態度を身につけ、食・栄養・健康に関する問題解決に向けて行動できる能力を習得する
4. 各領域に関連した講義・演習を通して、社会に貢献する視点を育み、生涯にわたり研鑽する意欲と態度を身につける

#### ◆卒業研究

1. 科学的議論を通して、研究やプレゼンテーション能力を養う
2. 自ら設定した課題について、科学的な手法を用いて分析を行い、客観的かつ論理的に表現する能力を養う
3. 食と栄養を通し、人々の健康に貢献するため、課題解決能力と実践力を修得する

---

## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

---

食物栄養学科では、次のような学生を求める。

1. 科学的視点を持ち、食・健康・栄養についての知識を得ようとする意欲がある
2. 人々の幸せに寄与し、社会に貢献したいという意欲がある
3. 倫理観と責任感をもって、協調しながら問題を解決しようとする意欲がある

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

### ①知識・技能

1. 管理栄養士として必要な知識を理解するための、高校までの基礎的学力を有している人
2. 化学および生物の基礎的な知識を習得している人
3. 管理栄養士として必要な食・栄養・健康に関する知識・技術を身につけたい人

### ②思考力・判断力・表現力

1. 課題や問題点を見つけ、客観的に判断し、論理的に考えることができる人
2. 自分の考えを、的確でわかりやすい文章や言葉で伝えることができる人
3. コミュニケーション力と対人力の高い管理栄養士を目指したい人

### ③主体性・多様性・協働性

1. 主体性を持ちながら、他者をも尊重し協調できる人
2. 課題に対して他者と協働して取り組むことができる人
3. 管理栄養士として、社会の役に立ちたいという意欲と情熱を持ち続ける人